

講義名	公務員特別演習Ⅰ		
科目区分	特別研究		
担当教員	関 陽		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限	授業形態	
	2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2019年度 経済学部 経済情報学科 情報システムコース/ 2019年度 経済学部 経済情報学科 経済情報コース/2019年度 経済学部 経済情報学科/2019年度 経済学部 経済情報学科 地域まちづくりコース/		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

公務員試験の「数的処理」分野の問題を解くために必要な知識や基礎力を修得し、能力の底上げを図る。また、公務員に関する調査・発表・ディスカッション等を通じて、公務員に関する理解を深め、モチベーションを高める。

到達目標

公務員試験の「数的処理」分野の基礎能力を養う。公務員に関する理解を深めてモチベーションを高めて維持する。

提出課題

過去問演習など、授業開始後に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

講義中に解説を行う。

評価の基準

講義の中で実施する小テスト、発表、提出課題、授業参加態度によって評価する。

履修にあたっての注意・助言他

期末試験を実施せず、成績は授業期間内で全て評価される。この科目は、継続的な演習を中心とした科目である。欠席すると以降の演習に支障をきたす恐れがある。このため、目標達成のためには、初回から最後まで全て出席すること。

教科書

教科書は使用しない。

プリント資料及び参考文献

必要に応じて資料を配布する。

参考図書：
「公務員試験『数的推理』が面白いほどわかる本」、柴崎 直孝（著）、KADOKAWA
「公務員試験『判断推理』が面白いほどわかる本」、柴崎 直孝（著）、KADOKAWA
「公務員試験 新・初級スーパー過去問ゼミ 数的推理 改訂版」、資格試験研究会（編集）、実務教育出版

授業計画

1. イントロダクション、数的推理の考え方、数の性質
2. 公務員ミニ講演1、余りと不足
3. 公務員関連発表、割合
4. 公務員関連発表、比
5. 公務員ミニ講演2、方程式
6. 公務員関連発表、濃度
7. 公務員関連発表、整数解
8. 公務員ミニ講演3、速さ
9. 公務員関連発表、その他の文章題
10. 公務員関連発表、記数法
11. 公務員ミニ講演4、数列
12. 公務員関連発表、場合の数
13. 公務員関連発表、確率
14. 公務員ミニ講演5、図形の計量
15. まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

本講義では、毎回の学習内容の復習や、次回内容についての予習が非常に重要である。予習と復習については、授業中に指示する。1回の講義に関する下調べと事後確認に4時間程度をかけることを目安とする。
また、公務員に関する発表が予定されているため、普段から公務員に関するニュース・情報に関心を持ってください。学園祭において公務員関連イベントに参加予定であるため、学園祭の期間にできる限り予定を入れないようにして下さい。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

- 1) 状況によって、授業計画は変更する可能性がある。
- 2) 日は未定であるが、公務員試験合格者/公務員経験者による講演が計画されている。